

子育て支援事業の最大手 JP ホールディングス（証券コード 2749）

小・中学生向けキャリア教育教材「おしごと年鑑 2020」に協賛

～昨年引き続き2回目の掲載 保育園の成り立ちや園生活の「なぜ？」を解説～

子育て支援事業最大手 JP ホールディングスグループのグループ企業である日本保育サービスは、小・中学生向けキャリア教育教材「おしごと年鑑 2020」（朝日新聞社刊）に協賛しています。

◆保育園の成り立ちや園生活の「なぜ？」を解説◆

「おしごと年鑑」は、2016年から毎年発行されており、全国のすべての小・中学校やこども食堂、海外の日本人学校に無償配布され、授業で使われています。2020年度版は、6万部以上が無償配布されるほか、7月20日より一般販売が開始されました。

『おしごと年鑑 2020』では、日本全国の有名企業・団体140社の仕事がイラストや図版たっぷりの紙面で紹介されています。

当社グループ企業の掲載は、保育士の仕事が初登場となった昨年引き続き2回目、「保育園ってどんなところ？」というタイトルで、保育園の成り立ちや園生活の素朴な質問に答えています。今年紙面では、幼稚園との違いや、保育園で働く保育士以外の職種を紹介などを加え、読者に「保育園」をより深く知ってもらえるような内容となっています。



保育園ってどんなところ？ 保育園Q&A. Includes a table of contents, a Q&A section with questions like 'How long is the day?' and 'What is the difference between kindergartens and nurseries?', and a testimonial from a staff member.

【保育園の成り立ちや園で働く人々を紹介】

◆SDGs への取組みとして「スマイル工房」の活動を新たに紹介◆

また、SDGs の取組みとして、日本保育サービスの「スマイル工房」の取組みも紹介しています。「スマイル工房」は、日本保育サービスが 2017 年 10 月に『障害者が自身の才能や能力を生かして活躍できる場の拡大』を目的として開設した作業センターです。スマイル工房では、こどもの成長に合わせた手作りのおもちゃを制作しており、全国 200 ヶ所以上の当社グループ運営施設で日々の保育に役立てられています。保育士の負担軽減など、保育の現場を支えることで、工房で働く従業員が社会とのつながりややりがいを感じる場となっています。



【SDGs への取組みとして「スマイル工房」の活動を紹介】

JP ホールディングスグループは、「こどもたちの笑顔のために…」をグループ経営理念に掲げ、303 の子育て支援施設を運営しています。今後も様々な活動を通して、こどもたちの未来を育んでまいります。

■株式会社 JP ホールディングスについて■

保育園・学童クラブ・児童館の運営を軸に事業を展開している子育て支援の最大手企業（東証 1 部上場・証券コード 2749）です。運営施設数はグループ全体で 303 施設となります（2020 年 4 月 1 日現在）。傘下に全国で保育園・学童クラブ・児童館を運営する株式会社日本保育サービスと株式会社アメニティライフ、保育園向け給食の請負などを行う株式会社ジェイキッチン、子育て支援施設向け英語・体操・リトミック教室を請け負う株式会社ジェイキャスト、保育関連用品の企画・販売などを行う株式会社ジェイ・プランニング販売、保育や発達支援に関する研修・研究・コンサルティングなどを行う株式会社日本保育総合研究所などがあります。

詳細はこちら (<https://www.jp-holdings.co.jp/>) をご覧ください。

【報道各位からの問い合わせ先】

株式会社 JPホールディングス 東京本部

広報 IR 部 都志・牛田・筒場

TEL : 03-6433-9515 FAX : 03-6455-8032

MAIL : jpohd_pr@jp-holdings.co.jp

<https://www.jp-holdings.co.jp/>